大地通信

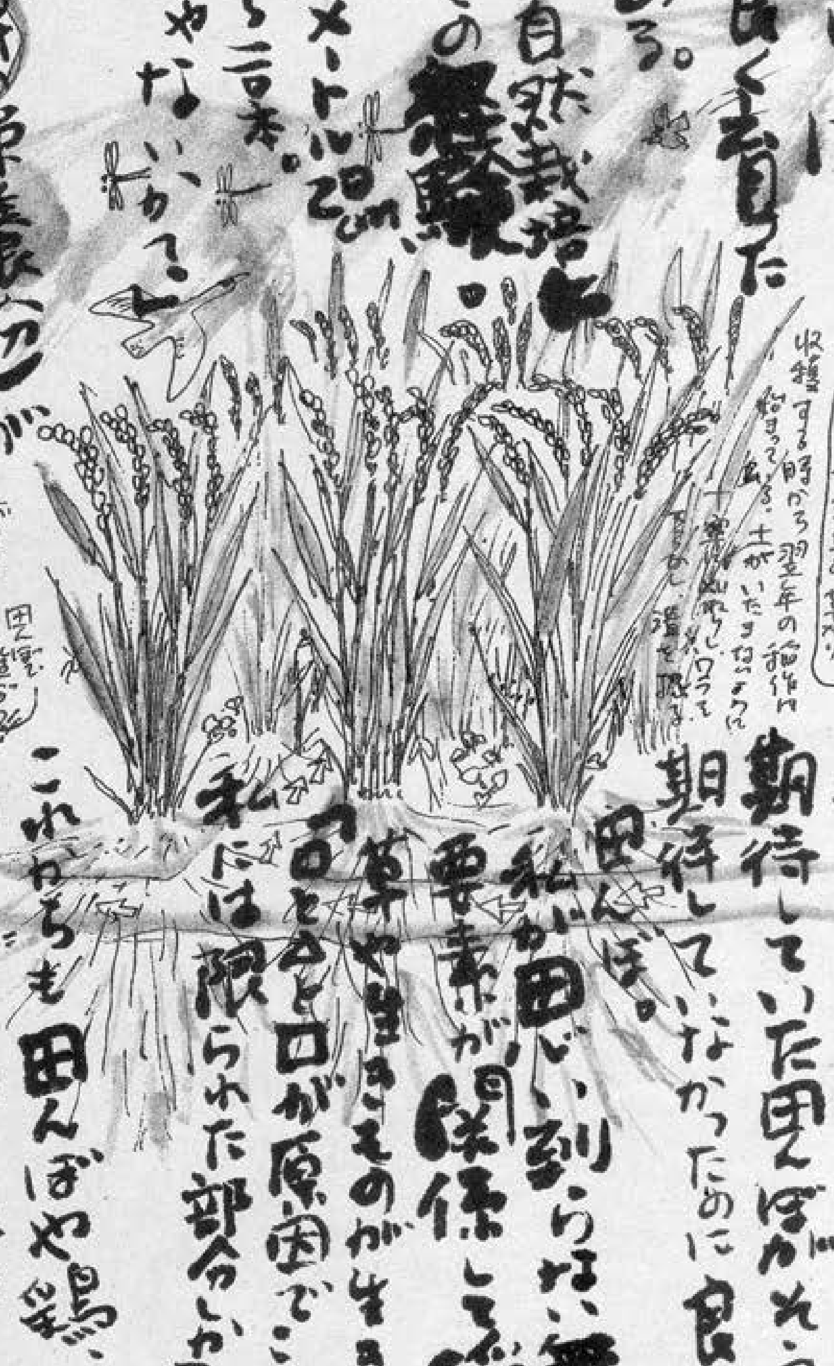
思い到ってない、ことだらけ

2017 十月 二二三号 宮尾浩史 久美子

〒950-3334 新潟市北区大月丙六三七
[illegible]

今年とても良く育った
田んぼが二枚ある。
肥料を施さない、自然栽培に
取り組んで初めての経験。
稲の背たけは一メートル四〇cm
分けつの数は十五〜二十本。
「肥料をやったんじゃないかって」
と思うほどだ。
今年は水（菌）栄養（ア）が
滞りなく流れる
という事を意識した。

（中秋の名月10月4日（旧暦八月十五日））



十月の農作業
稲刈り、杭づくり、くん炭焼き、畜[illegible]
モミスリ、モミガラ散布、排水溝
農機具の整備片付け、エ[illegible]
種モミ脱芒、稲ワラ集め、麦播
俵づくり、落葉集め、草刈り

収穫する時から翌年の稲作は
始まっている。土がいただけなかったものは
全部田んぼに戻し、ワラを
[illegible]

お月さま
日曜市
十月十九日 9時〜
@点塾

田んぼで遊ぼう
秋編
十月八日
9時〜
点々場

田んぼの条件は一枚一枚異なり
手の入れ方もそれぞれ違う。
何故そういう結果になったのか
決めつけることに最近疑問を
持つようになった。
期待していた田んぼがそうでもなく
期待していなかったのに良く育った
田んぼ。
私が思い到らない、無限の
要素が関係して稲が育ち
草や生きものが生きている。
「○と△と□が原因でこうなった」
と私は限られた部分しか見えて
いない。
これからも田んぼや鶏、自然と
向き合い、その奥深さに
感動したり探求していきたい。